

日塗工 整理No.		2016-37	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生日時		2015年 10月1日(木) 16時 40分 天候(曇) 温度( )℃湿度( )%				
災害区分		不休災害 ( ) 休業災害 (休業:1日)				
被災者	部門	技術		雇用形態 正社員、派遣、契約 ( ) 其他(期間雇用)		
	年齢	25歳	性別: 男 ( ) 女 ( )	勤続年数	6ヶ月	
	傷病名	病名 (挫創)				
	傷病部位	左人差し指、中指、薬指				
災害発生状況	ロールミル使用後、トイレットペーパーに溶剤を染みこませて、ビニール手袋を着用した手で ロールを稼動させた状態で拭き取り洗浄をしていた時に、順手で手を置いてしまい、 左手指付け根部分までまきこまれた。 自ら緊急停止ボタンを押し、別の技術員が 手でロールを逆回転させ手指を抜き取った。 骨折は無いが、左手人差し指、中指、薬指 合計3本の挫創、全治1ヵ月。		状況概略(写真orイラスト) 			
						
	災害の型 <sup>※1)</sup>		5	作業の形態: 定常、非定常、其他( )		
	起因物:		ロールミル	特記事項		
	原因分類	1. 人的要因(man) : 順手で拭き取り禁止の注意喚起の表示をしていたが、順手で手を置いてしまった。ビニール手袋を装着していた。				
		2. 物に関する要因(machine) : 手が回転体に入りえる構造であり、緊急停止時に逆回転する機能がなかった。クリアランスを最大限に広げても8mmまでしか広がらない構造だった。				
3. 環境要因(media) : 過去に使用していた巻き込まれ防止治具の存在が知られておらず、巻き込まれ防止治具を使用しない状態で、稼動させたままの洗浄が常態化していた。						
4. 管理的要因(management) : 期間雇用員への指導を任せていた。作業標準書がなかった。						
対策	① 手が入らない構造完成までは、ロール停止後の洗浄を徹底。女性用として摩擦係数の低い手袋へ変更。					
	② 巻き込み防止治具の改良・常設。逆回転機能を追加した緊急停止ボタンへ改良。反対側に緊急停止ボタンを設置。					
③ 作業標準書の作成、周知徹底、現場への表示。課内会議にて危険箇所の再確認と対策。						
④ 危険作業の指導、教育を行う人間を限定。今回の改善を踏襲した作業標準書の作成、周知徹底、現場への表示。						
対策分類 <sup>※2)</sup> : 1-2、1-4、1-6、2-4						

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)